



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	57,136	△15.2	△2,751	—	△5,478	—	△5,313	—
2020年3月期	67,372	△4.1	250	△11.3	143	△83.6	△151	—

(注) 包括利益 2021年3月期 △4,573百万円 (—%) 2020年3月期 △943百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△520.24	—	△10.5	△5.3	△4.8
2020年3月期	△14.44	—	△0.3	0.1	0.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △2,169百万円 2020年3月期 302百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	98,490	48,580	49.0	4,721.55
2020年3月期	108,175	53,499	49.2	5,207.30

(参考) 自己資本 2021年3月期 48,222百万円 2020年3月期 53,187百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	4,822	△5,113	△2,554	9,945
2020年3月期	3,792	△8,198	5,323	12,945

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	517	—	1.0
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	408	—	0.8
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年3月期の配当(予想)につきましては、現時点では未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	9.1	300	—	—	—	—	—	—
通期	62,000	8.5	300	—	—	—	—	—	—

(注) 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、海外関連会社における新型コロナウイルス感染症の影響等が不透明であり、合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	11,145,249株	2020年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2021年3月期	931,951株	2020年3月期	931,282株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	10,213,824株	2020年3月期	10,482,220株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	36,345	△10.8	△2,301	—	△2,381	—	△2,012	—
2020年3月期	40,734	△6.0	△28	—	1,122	△3.6	1,095	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△197.05	—
2020年3月期	104.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	91,411	45,545	49.8	4,459.48
2020年3月期	94,110	46,975	49.9	4,599.14

(参考) 自己資本 2021年3月期 45,545百万円 2020年3月期 46,975百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化し、厳しい状況で推移しました。経済活動の再開に伴い景気の持ち直しの動きが見られましたが、国内外における感染症の動向による下振れ懸念等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは長期ビジョンとしての“ありたい姿”を「環境に配慮しながら安心・安全を提供し、次世代に誇りを持って引き継ぐために成長し続ける企業グループ」と定義いたしました。そして当連結会計年度より「Change and Challenge with You」というスローガンを掲げた3カ年の中期経営計画をスタートさせました。中期経営計画では「環境変化に適応した運営体制の構築」「投資効率の追求と収益体質の確立」「事業の拡大と成長戦略の推進」「社会のニーズに応える製品・サービスの展開」「従業員の能力が最大限発揮される職場環境の構築と次世代の育成」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

こうした環境の下、セグメント売上高は、ニューガラス関連事業が増収となりましたが、ガラスびん関連事業、プラスチック容器関連事業、物流関連事業においていずれも減収となったため、当連結会計年度の連結売上高は57,136百万円（前期比15.2%減）と減収となりました。

利益につきましては、連結営業利益は△2,751百万円の損失（前期は250百万円の利益）となりました。海外関連会社において新型コロナウイルス感染症の影響による販売量の減少や工場火災の影響があり、また、新たに設立した関連会社において立ち上げ期の損失が発生したため、持分法による投資損失は2,169百万円（前期は持分法による投資利益302百万円）となりました。これらの結果、連結経常利益は△5,478百万円（前期は143百万円の利益）、親会社株主に帰属する当期純利益は、△5,313百万円の損失（前期は△151百万円の損失）となりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、当連結会計年度より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。また、前期の数値についても当連結会計年度の報告セグメントの区分に変更して表示しております。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内においては新型コロナウイルス感染症による活動自粛が販売に大きな影響を及ぼしました。経済対策として実施されたGoToトラベル・GoToイートの影響で需要回復の兆しがやや見えたものの、感染の波が繰り返し発生し、特に飲食店向けのアルコール飲料や栄養ドリンク等の販売は戻りませんでした。その結果、ガラスびん業界の出荷量は第1四半期連結会計期間に前年同期比81.3%と大きく減少し、通期では前期比90.6%となりました。このような中、当社の出荷量も減少し、さらに海外子会社においては、米国での中国ガラスびんメーカーに対する関税措置に関する調査の影響で輸出販売が減少した結果、セグメント売上高は37,052百万円（前期比20.7%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少等により、△3,655百万円の損失（前期は△69百万円の損失）となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、新型コロナウイルス感染症の影響等により飲料用キャップやディープグリップボトル（把手とボトルが一体成型された大容量4.0Lペットボトル）の出荷が減少し、セグメント売上高は5,767百万円（前期比11.3%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少等により、161百万円（前期比33.4%減）と減益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による取扱い物量の減少等があり、セグメント売上高は10,484百万円（前期比1.7%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や配送の効率化、外注費等の費用削減等損益改善に努めたことから、442百万円（前期比157.9%増）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、5G需要により当社の電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移しました。さらに国内子会社では半導体レーザー用・センサー用部品や高速通信用部品の出荷が堅調に推移し、海外子会社では高速通信用部品の出荷が堅調に推移したため、セグメント売上高は3,830百万円（前期比9.6%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収により前期より改善したものの、海外子会社の損失を補えず、△104百万円の損失（前期は△342百万円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9,684百万円減少し、98,490百万円となりました。これは、投資有価証券が744百万円増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金や商品及び製品等の流動資産が7,319百万円、関係会社出資金が1,346百万円、関係会社株式が925百万円、有形固定資産が908百万円減少したこと等が主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,764百万円減少し、49,910百万円となりました。これは、有利子負債合計が3,351百万円、未払金が1,169百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産については、利益剰余金の減少5,773百万円等により、前連結会計年度末に比べ4,919百万円減少し、48,580百万円となりました。自己資本比率は0.2ポイント低下して49.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末より3,000百万円減少し、9,945百万円となりました。

各活動における資金増減の内容は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前当期純損失（5,945百万円）や仕入債務の減少（953百万円）等があったものの、減価償却費（4,980百万円）、売上債権の減少（3,001百万円）、持分法による投資損失（2,169百万円）、たな卸資産の減少額（1,283百万円）等により、4,822百万円の資金増加（前期は3,792百万円の資金増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出（5,510百万円）等により、5,113百万円の資金流出（前期は8,198百万円の資金流出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の増加（純額で3,736百万円）等があったものの、短期借入金の減少（純額で6,421百万円）等により、2,554百万円の資金減少（前期は5,323百万円の資金増加）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

		2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
自己資本比率	%	54.2	54.1	52.6	49.2	49.0
時価ベースの自己資本比率	%	19.3	18.6	14.4	8.0	10.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	年	8.2	5.4	7.8	9.8	7.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	倍	7.6	11.4	9.4	8.4	10.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

*いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

*営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

*有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

*利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くと見込まれており、収束のための対策が進められていますが、引き続き先行きは不透明な状況で推移していくものと予想されます。

当社グループを取り巻く環境は、コア事業である国内のガラスびん需要は引き続き他素材容器への転換や少子高齢化等により漸減傾向にあると予想されます。原燃料価格については、原油価格や為替レートにより変動が大きくなる可能性があり、経営環境は従来と同様の厳しい状況が続くものと考えております。さらに翌連結会計年度においては国内での感染症の影響が一定期間に渡り継続することや中国子会社における輸出が緩やかに回復することを見込んでおります。

このような要因を織り込んだ結果、翌連結会計年度の連結売上高は62,000百万円（前期比8.5%増）、連結営業利益は300百万円（前期は△2,751百万円の損失）を予想しております。連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、海外関連会社における新型コロナウイルス感染症の影響等が不透明であり、合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

実際の業績は、今後の感染症の状況等により大きく異なる可能性があります。修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

翌連結会計年度の業績は不透明ではありますが、中期経営計画の達成に向けて山村グループ一体となって業績改善に取り組んでいく所存であります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主の皆様への利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し当2021年3月期の期末配当金は1株につき20円とし、中間配当金の20円と合わせて、年間配当金は1株につき40円を予定しております。

次期の配当につきましては、未定とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく所存です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,308	10,130
受取手形及び売掛金	19,682	16,769
商品及び製品	7,379	6,211
仕掛品	285	229
原材料及び貯蔵品	2,797	2,752
前払費用	152	140
その他	787	844
貸倒引当金	△48	△52
流動資産合計	44,346	37,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,221	32,516
減価償却累計額	△24,620	△25,193
建物及び構築物(純額)	7,601	7,323
機械装置及び運搬具	80,200	81,703
減価償却累計額	△66,548	△68,679
機械装置及び運搬具(純額)	13,651	13,023
工具、器具及び備品	9,212	9,478
減価償却累計額	△8,214	△8,449
工具、器具及び備品(純額)	997	1,029
土地	10,332	10,332
建設仮勘定	583	549
有形固定資産合計	33,167	32,258
無形固定資産		
その他	1,487	1,373
無形固定資産合計	1,487	1,373
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	3,403
関係会社株式	19,525	18,599
関係会社出資金	4,861	3,514
長期貸付金	715	362
長期前払費用	121	110
退職給付に係る資産	731	998
繰延税金資産	173	400
その他	404	459
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	29,174	27,832
固定資産合計	63,829	61,464
資産合計	108,175	98,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,427	6,438
短期借入金	14,851	11,647
1年内償還予定の社債	1,500	—
未払金	2,816	1,647
未払法人税等	280	296
未払消費税等	496	504
未払費用	814	826
賞与引当金	490	514
役員賞与引当金	16	30
その他	1,537	874
流動負債合計	30,232	22,780
固定負債		
社債	—	1,000
長期借入金	19,223	20,051
リース債務	925	716
環境対策引当金	9	3
退職給付に係る負債	3,173	2,993
繰延税金負債	346	244
その他	763	2,121
固定負債合計	24,442	27,129
負債合計	54,675	49,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,696	16,696
利益剰余金	26,818	21,045
自己株式	△1,564	△1,564
株主資本合計	56,026	50,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	1,253
繰延ヘッジ損益	△486	92
為替換算調整勘定	△2,394	△3,025
退職給付に係る調整累計額	△684	△351
その他の包括利益累計額合計	△2,839	△2,029
非支配株主持分	312	357
純資産合計	53,499	48,580
負債純資産合計	108,175	98,490

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	67,372	57,136
売上原価	55,753	49,509
売上総利益	11,618	7,626
販売費及び一般管理費		
運搬費	4,110	3,438
旅費及び交通費	269	71
貸倒引当金繰入額	0	3
従業員給料	1,802	1,779
賞与引当金繰入額	137	166
役員賞与引当金繰入額	16	30
退職給付費用	103	125
福利厚生費	563	494
賃借料	212	216
保管費	1,029	958
租税公課	284	248
消耗品費	753	800
減価償却費	269	305
その他	1,814	1,739
販売費及び一般管理費合計	11,368	10,378
営業利益又は営業損失(△)	250	△2,751
営業外収益		
受取利息	12	17
受取配当金	202	74
設備賃貸料	89	92
持分法による投資利益	302	—
為替差益	—	129
補助金収入	34	166
試作品収入	106	128
その他	385	254
営業外収益合計	1,132	863
営業外費用		
支払利息	439	393
持分法による投資損失	—	2,169
為替差損	146	—
減価償却費	79	275
租税公課	114	107
その他	459	644
営業外費用合計	1,239	3,590
経常利益又は経常損失(△)	143	△5,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1	10
投資有価証券売却益	—	89
特別利益合計	1	100
特別損失		
固定資産売却損	26	1
固定資産廃棄損	98	213
投資有価証券売却損	1	—
関係会社株式売却損	110	—
減損損失	—	101
支払補償金	46	—
事業構造改善費用	—	249
特別損失合計	282	566
税金等調整前当期純損失 (△)	△137	△5,945
法人税、住民税及び事業税	461	310
法人税等調整額	△378	△879
法人税等合計	82	△568
当期純損失 (△)	△219	△5,376
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△68	△63
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△151	△5,313

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△219	△5,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△533	529
繰延ヘッジ損益	△353	579
為替換算調整勘定	14	△390
退職給付に係る調整額	△112	279
持分法適用会社に対する持分相当額	261	△194
その他の包括利益合計	△723	803
包括利益	△943	△4,573
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△861	△4,504
非支配株主に係る包括利益	△81	△69

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,074	16,697	27,775	△1,236	57,311
会計方針の変更による累積的影響額			△231		△231
会計方針の変更を反映した当期首残高	14,074	16,697	27,544	△1,236	57,079
当期変動額					
剰余金の配当			△524		△524
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△151		△151
自己株式の取得				△327	△327
自己株式の処分		△0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△0			△0
連結範囲の変動			△49		△49
利益剰余金から資本剰余金への振替		0	△0		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△0	△725	△327	△1,053
当期末残高	14,074	16,696	26,818	△1,564	56,026

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の利益累計額合計		
当期首残高	1,258	△133	△2,715	△538	△2,128	65	55,248
会計方針の変更による累積的影響額							△231
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,258	△133	△2,715	△538	△2,128	65	55,016
当期変動額							
剰余金の配当							△524
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△151
自己株式の取得							△327
自己株式の処分							0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△0
連結範囲の変動							△49
利益剰余金から資本剰余金への振替							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△532	△353	320	△145	△710	246	△463
当期変動額合計	△532	△353	320	△145	△710	246	△1,516
当期末残高	725	△486	△2,394	△684	△2,839	312	53,499

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,074	16,696	26,818	△1,564	56,026
当期変動額					
剰余金の配当			△459		△459
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△5,313		△5,313
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	△5,773	△0	△5,773
当期末残高	14,074	16,696	21,045	△1,564	50,252

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他有 価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換 算勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	725	△486	△2,394	△684	△2,839	312	53,499
当期変動額							
剰余金の配当							△459
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)							△5,313
自己株式の取得							△0
連結範囲の変動							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	527	579	△631	333	809	45	854
当期変動額合計	527	579	△631	333	809	45	△4,919
当期末残高	1,253	92	△3,025	△351	△2,029	357	48,580

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△137	△5,945
減価償却費	4,867	4,980
減損損失	—	101
持分法による投資損益(△は益)	△302	2,169
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39	△180
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	14
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△7	△3
有形固定資産廃棄損	127	227
有形固定資産売却損益(△は益)	24	△8
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△89
関係会社株式売却損益(△は益)	110	—
受取利息及び受取配当金	△215	△92
支払利息	439	393
売上債権の増減額(△は増加)	△229	3,001
たな卸資産の増減額(△は増加)	△269	1,283
仕入債務の増減額(△は減少)	△738	△953
その他	57	536
小計	3,749	5,460
利息及び配当金の受取額	1,092	84
利息の支払額	△449	△468
法人税等の支払額	△692	△392
法人税等の還付額	93	139
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,792	4,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,871	177
有形固定資産の取得による支出	△4,639	△5,510
有形固定資産の売却による収入	5	19
無形固定資産の取得による支出	△168	△101
投資有価証券の取得による支出	△1	△51
投資有価証券の売却による収入	4	136
関係会社株式の取得による支出	△20	—
関係会社株式の売却による収入	645	—
関係会社出資金の払込による支出	△4,975	—
貸付けによる支出	△856	△160
貸付金の回収による収入	205	344
その他の支出	△297	△165
その他の収入	28	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,198	△5,113

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,664	△6,421
長期借入れによる収入	4,630	9,185
長期借入金の返済による支出	△4,193	△5,448
社債の発行による収入	—	1,000
社債の償還による支出	△100	△1,500
自己株式の増減額 (△は増加)	△327	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	119
リース債務の返済による支出	△820	△723
セール・アンド・割賦バックによる収入	—	1,699
配当金の支払額	△525	△459
非支配株主への配当金の支払額	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,323	△2,554
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	△174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,001	△3,020
現金及び現金同等物の期首残高	10,872	12,945
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,072	20
現金及び現金同等物の期末残高	12,945	9,945

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ガラスびん・プラスチック容器・ニューガラス製品の製造・販売、ならびにこれに関連した各種機器・プラント類の設計・製作・販売や、輸送・保管・構内作業等の事業活動を展開しております。

当社は、これらの事業活動から「ガラスびん関連事業」・「プラスチック容器関連事業」・「物流関連事業」・「ニューガラス関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、当連結会計年度より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一です。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,706	6,504	10,667	3,494	67,372	—	67,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	538	8,571	6	9,116	△9,116	—
計	46,707	7,042	19,238	3,500	76,489	△9,116	67,372
セグメント利益 又は損失(△)	△69	242	171	△342	2	248	250
セグメント資産	49,500	7,141	5,748	5,382	67,773	40,402	108,175
その他の項目							
減価償却費	3,505	601	233	286	4,627	239	4,867
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,084	532	15	334	3,967	126	4,093

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,052	5,767	10,484	3,830	57,136	—	57,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	609	8,208	6	8,825	△8,825	—
計	37,053	6,377	18,693	3,836	65,961	△8,825	57,136
セグメント利益 又は損失(△)	△3,655	161	442	△104	△3,155	404	△2,751
セグメント資産	45,868	6,904	5,918	5,186	63,878	34,612	98,490
その他の項目							
減価償却費	3,669	526	218	295	4,709	270	4,980
減損損失	101	—	—	—	101	—	101
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,895	591	34	342	3,864	159	4,023

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	△9,116	△8,825
合計	△9,116	△8,825

(単位:百万円)

セグメント利益 又は損失(△)	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	127	123
その他の調整※	120	280
合計	248	404

※その他の調整には、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等が含まれております。

(単位:百万円)

セグメント資産	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	△19,029	△26,103
全社資産※	59,431	60,715
合計	40,402	34,612

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない全社の資産です。

(単位:百万円)

減価償却費	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	239	270
合計	239	270

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない全社の資産です。

(単位:百万円)

有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去等	32	6
全社資産※	94	152
合計	126	159

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない全社の資産です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	5,207円30銭	4,721円55銭
1株当たり当期純損益金額	△14円44銭	△520円24銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損益金額の算定上の基礎は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損益金額 (百万円)	△151	△5,313
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損益金額 (百万円)	△151	△5,313
普通株式の期中平均株式数 (千株)	10,482	10,213

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他役員の変動(2021年6月25日付予定)

・ 監査等委員である取締役候補者 [新任]

氏名	現役職	新役職
水田 好彦	執行役員 監査等委員会室長	取締役 常勤監査等委員

・ 退任予定取締役

氏名	現役職	新役職
植田 光夫	取締役 執行役員 環境室管掌	執行役員 グループサステナビリティ担当 環境室管掌
鳥居 豊彦	取締役 常勤監査等委員	—

以上